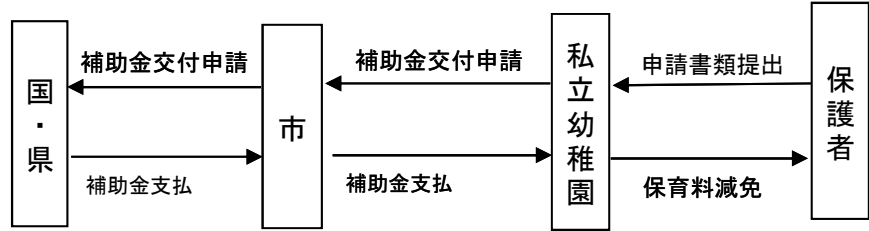


平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	就園奨励費助成事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	学校教育課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	学校教育係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 学校教育		2 教育力を向上させる									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	4		目	1		大	5		中	2	
	根拠法令・個別計画	小牧市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める経費の内訳(割合)	直接実施・運営	2 %		委託	0 %		助成	98 %							
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	<p>私立幼稚園の設置者が本市に住所を有する4月1日における年齢3歳児、4歳児及び5歳児並びに当該年度中に満3歳を達する幼児で、当該幼稚園に在園する園児の保護者に対して入園料及び保育料を減免する場合に補助を行い、私立幼稚園に在園している保護者の経費負担を軽減する。</p>														
	内容 (手段)	<p>幼稚園設置者が園児の保護者に対し、保育料等を減免する場合に「私立幼稚園就園奨励費補助金」を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助額は国の補助基準に基づき、市民税所得割額により定められているが、国の補助基準からはずれる場合は、小牧市単独で12000円を補助する。 ・18歳未満の子どもを3人以上養育する世帯で、3番目以降の子どもが幼稚園に在園している場合は、その子どもにかかる入園料と保育料の合計から、上記補助金額を差し引いた金額を、小牧市単独で補助する。(結果的に、入園料と保育料全額が補助されることになる) ・幼稚園を経由して提出される2000件超の書類の審査を行う。 														
受益者負担	無															



		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	201,512	227,119	238,566	261,101	
		正職員	従事者数	人	0.60	0.60	0.60	0.60
			人件費	千円	3,191	3,191	3,191	3,191
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	204,703	230,310	241,757	264,292	
対前年比	%			112.5	104.9	109.3		
財源	一般財源	千円	162,584	186,155	194,996	218,241		
	国・県支出金	千円	42,119	44,155	46,761	46,051		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	就園奨励費事業対象者		件	目標	—	—	—
実績				3,248	2,521	2,576	
上記のうち、第三番目以降補助件数		件	目標	—	—	—	—
			実績	259	284	328	
			目標				
			実績				
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	就園奨励費事業(国庫補助対象者)	件	目標	—	—	—	—
実績			2,694	2,099	2,090		
市単独補助対象者(第三番目以降の補助を除く)		件	目標	—	—	—	—
			実績	554	422	486	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	2576件の保護者に対する補助を実施することができ、幼児の就園機会を確保し、保護者の経済的負担の軽減が図られている。
		事業実施における課題等	国の補助区分が複雑なため、補助金交付申請書の記入方法が複雑である。
		事業を縮小・廃止したときの影響	国・県より本事業を推進するよう強く依頼されており、廃止した場合は国・県より指導が入る可能性がある。また公私立間の授業料等の保護者負担にさらなる格差がでると考えられる。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	幼児の就園機会を確保し、公私立間の授業料等を格差是正し、保護者の経済的負担を軽減するため、本事業は必要不可欠であるため。	
	改善案等	他自治体の状況を確認しつつ、申請書の様式を検討する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。